

自治会会則改正案提出される

では、その修正案については、その修正案についてくわしく説明しよう。まず、十条と十一條の間に一條追加する。

新十一條 議会の議決は、「毎月一回」を「必要に

。旧二十三條 執行委員會は毎月一回自治会に關する諸帳簿を檢閲する。

新二十四條 旧二十三條

如く部會を設け、それぞれを置き、會長・書記を全役員はそのいづれか所屬せねばならない。

の議員から報告をうける」の審議、職員会議の了承を経て、解散される場合がある活動内容の連絡を受ける。また各学級で活動する。また新四十四条・旧四十三条

一般的に安倍高生は「三無主義」とか「活気がない」と言われているが、実際

トを行
た理由は

—アンケート結果—

ての活気はどうであらうか？

アンケートⅡの結果

「阿倍高生は活気があると思いますか」

「活気がある」と答えた者が全体の約二三%、「活気がない」とした者が約七七%もある。さすがにクラブは、「活気がある」というのが約五九%、「活気がない」というのに約一五%で、前者の方が後者よりも上まわっているもの、H・Rについての前者が約四四%執行部については前者約一九%、後者約三八%である。こまごまのデーターで

兎は、充実を感じるところが大変少ないのである。好きな者どうしが集まったクラブに比べ、機械的に分けられたクラスでは、友達とうしにもなじみが浅いのでまとまりにくいためかもしれないが、少しは無気力ということもいえると思う。

アンケートⅠの一年男子の結果のように、今までの生活に充実を感じていない者が全体の約七〇％もあるのだ。二・三年生は、阿倍

限らず、現在の私たちに、特に自治会の活動については「人まかせ」のところはないだろうか。その中でも、銀行部・部会などのことは、Ｒでは雲の上のことのように思っている者は、驚くほどいるにちがいない。幾分、ケチな話になるかも知れないが、自治会費をいくらか払っているのだからもう少しその活動に関心をもち、何となくやるものではないか。何も自治会の役員である。今がクラブになれようように活動に力を注ぎたい」と、抱負を語っていた。

アマチュア無線愛好会

ある際に電波障害がおこり苦情が出れば、アマ無という団体の責任でおさまる。しかし同じ好会となると、自治会に責任がかかってくる治会により、電波障害の対応策を、時には多額な金を出さなくてはならないことになる。このような問題が同好会会長の妨げとなっていたのだ。

アマ無の会長は「我々が活動するには費用がかかるため、早くクラブに昇格したい。」

を問うことである。ここで認められると晴れてクラブとなることができるのだ。アマ無の場合、愛好会で

～満足
三満



生徒との密着計れ

つま、部会と生徒がうまく密着していないからである。また、委員会も、ただ部会と生徒の連絡をするだけで、委員会では、何も話し合われていなかった。だから、部会の意見は正確に生徒

ら、部会は生徒の意見や希望をよく知り、生徒に密着しなければならないのだ。そのためには、委員会が現在の状態から脱し、部会は、委員会を重視し、充実させなければならない。

それでは、どのようにすれば、委員会が充実するのだろうか。まず、現

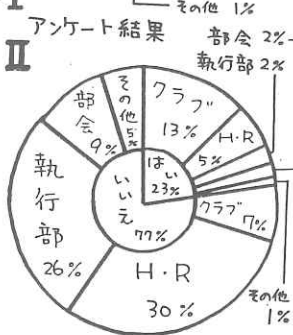
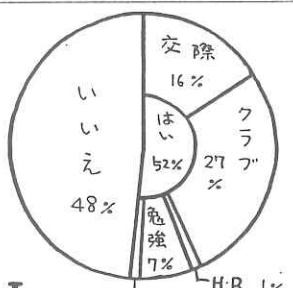
ましてして流会を防いでいるのだ。しかし部会は、積極的に委員を集めていないようだ。また文化部会のメンバーは、現在一年生が二人である。部会ではやる気のない者は、無理に部員にしないそうだが、やる気のある者を育てるぐらいの委員会にしてみたい。

〇%、女子約五〇%、二年生男子約六七%、女子約七七%、三年生男子約五九%、女子約五五%。

次に多いのが交際で一年男子約二三%、女子約四三%、二年男子約三七%、女子約四八%、三年男子約二七%、女子約四二%である。勉強での充実は二年男子約三二%、三年の男子約

いといえる。

「H・Rの治会活動の活に、「個人のずしも結びつが、「活気での生活」「個人の生活」



自主性欠いた選挙

並にまで延ばされた。二月二日（木）で、やっと立候補者が二名となり、二学（男子）に二年一組の江利幸君、副会長に一年七組の橋本啓一君がそれぞれ立候補した。

一組の金城隆照君が、それぞれ立候補した。そして、二月十日（金）の第六限目に信任投票が行われた。開票の結果、会長に立候補した房本君が、一、二年生の

本日、第三十号聖火が

PRを「聖火」

PRを盛んに

「聖火」本日発行

選挙を延期したり、二回に分けて行ったことはやむを得なかった。また、選挙を強行して一年生の各クラスから、最低一名ずつ立候補者を出してもらうことを決めたのも仕方がなかった。しかし、四クラスが反対して、残りの四クラスしか立候補者が出てくれなかった。選挙管理委員会としては、執行部を成立させるためにいろいろな手段を取ってきしたが、生徒側にとって、こういういやな手段を取られても前にもったと立候補する前に、もったと立候補して自治会活動というものをよく理解し、これからの選挙には進んで立候補してほしい」ということであった。

盛んに
本日発行

れは、印刷費が値上りした
ため、編集委員会は今年
はこの金額でもギリギリで
ろう。

のをどしどし出してほしい
」と言っていた。最後に一
年生だが、一人がカットを
投稿しただけで文章投稿は
ゼロだ。今までは例のない
ことである。では、なぜこ
のような事態になったのだ
ろう。

もって予算がほしかった」と言う。最近では、予算の制約が大きくなってきたという。

今年の投稿は三年生が全体の五割強を占めていた。やはり高校生活最後ということもあって、思い出を残そうとしたのか、自分の主張を述べたものや、自分が多くあり、二年生も半分近くあり、こちらは小説や随筆が幅をきかせている。編集委員長は「投稿には随筆などが多いが、自分の意見を主張したものが少ないの、これからはそういうものも

二・三年生は昨年の全員投稿で聖火に対する関心が高まっていたので、投稿が多いようだ。しかし、一年生はこのような経験もなく聖火に対する知識は皆無に等しい。つまり、聖火の意義や重要性を自分のものにしていないのである。こうなつたのは編集委員会のPが少なかつたためではなく、特に一年生に対してのPを軽視していたようだ。H・RでのPも目立たなかつた。もっとH・Rを利用して、大々的に投稿を募

—先生にインタビュー—
高女時代を顧みる
和食雅子先生

A black and white portrait of a woman with short, dark, wavy hair. She is wearing thick-rimmed glasses and a dark top with a prominent white sailor-style collar featuring a large white bow at the center. The portrait is enclosed in a simple black rectangular frame.

結婚なさった当時、教師をお続けになって、勤務が大変だったでしょうね—— 「随分苦勞はありましたが子供がまた小さい頃は母がみてくれましたし、主人も理解があったので助かりました」 世間一般に、女性結婚後、家庭に入るべきだ、という考えがありますが、先生はそれを克服されたのですね—— 「ええ、私の場合は勤務を続ける点で、本当に恵まれていましたね」	先生はどんな教師をめざしておられるのですか—— 「国語・文学を通じて、生徒と心を通い合わせ、共によりよい人間に成長していきたいですね」 先生がよく口にしておられる、真・善・美、というのは先生の信念ですか—— 「信念というか……真意を求めながら調和した心で生きていきたいと思ひます。自然な心で調和した生き方です」 最後に、卒業生の方々に
一言どうぞ—— 「人間としてのあり方を常に考え、現在何をしたらよいのかよへ考えて、真実の生き方をみつめて、いつてほしいです。物事の本質を見きわめるような勉強を努力してやって下さい」	インタビュを終えて、阿部野高女の「しん」の強さと、そして、信念を持つて行動することの大切さを痛感させられました。

生御自身 にお話などを伺つてみま した。	阿部野高女の頃の生徒の 気質はどんなものでしたか 「戦争中はほとんど勉	もその兆しが見られる。だ から編集委員会は現状に歯 止めをかけるために、今後	基本方針やPRを徹底させ なすべきた。我々の先輩達が 知した聖火の火を絶やして はならない。	者もおります」
に比べると良いと言われて いますけれども……」	高女時代、生徒の男女交 際などはありませんか―― 「今のように男女共学でな く、男女七歳にして……と いうように、上町線の電車 でも男子は前、女子は後ろ に乗ると決められていまし たからね」	失礼ですが、先生は結婚 なさっているのでしょうか？ ――「ええ、子供も大学を 卒業し、もう結婚している 者もおります」		

ガンバレ社会人ノ	就職内定者	中村 操 (一組)	佐藤 仁美 (六組)	沢田千賀子 (六組)	市川 敬子 (七組)	以上三和銀行	中山ひろみ (一組)	関西電力	淵田恵美子 (二組)	三洋電機	岩本 典子 (四組)
大阪興銀	山内千恵子 (五組)	池田 和哉 (八組)	近畿電気通信局 有田 勝也 (五組)	防衛庁	(以上敬称略)	国家公務員二次試験合格者	今年度は、男子四名、女子一名が合格	地方公務員合格者	—大阪府—	今年度は、男子の合格者	
はなかつたが女子が三名合格	—大阪市—	合格者は男子一名のみ	本日は、御卒業おめでとうございます。すでに進路を決定された方、これから決定される方、どなたも思い出を胸に……先輩方の御健康をお祈り致します。								

古 都 路

コンクリート
やアスファルト
を見慣れている
と古い町並や民
家が懐かしくな
ってくる。今回
は二上山(麻近
辺へ大和棟を求
めて行ってみた
近鉄あべの橋
心を通は

吉川栄治
「化道」と
なる。なる
につれて
てゆく。
に目を向
山が優美
れている
そうし

品によって「七変」と名づけられてい
るほど、道を進む
二上山が変化し
そして飛鳥の方
向けると、大和三
大姿を見せてく
る。大和三山に
ていると、見過

郷愁深まる古里

二上山当麻付近

の生地だ 東西両塔があるのはこ
けに浄土の寺だけで共て国宝、そ

える。石光寺へは南へ一キロほどだ。

その一キロほどの道は



当麻寺中之坊

内へ入ったが、時期をあやまつた。千本あるという寒牡丹は、蓑帽子の中に空しくろちむだけ。花はすでに落ちていた。この寺に人工の美はないあるのは豪華な花の美であり、冬は減びの美を感じさせる。なにしろ牡丹だけで四千本はあるというのだから、ぜひ春に訪

石光寺から、さらに南へ三キロほど行くと、当麻寺がある。そこへ行く途中に墓地があるが、そこに中平姫の墓塔と伝えられる平安期の石塔がある。美術的に面白いのである。

さて、いよいよ当麻寺に入る。この寺は、推古女帝の時に建てられた万教の本質を見るようである。

金堂——こは未来の世界である。五十六億七千万年の後に如来となり人々を救うという弥勒菩薩が、長い時空を越えて見事に如来に変身している。国宝の白鳳仏である。

そして、その四方を守る四天王像は、遠き百濟の姿に歴史を感じさせるお目当てる民家は当麻寺駅までの約一キロの道がハイライント。八十八才以上の人の手形が玄關に上つてあるのを見たと命の尊さを感じさせられる。

だが一面、当麻でも民家は減る一方とか、現代生活と過去への郷愁は、両立しにくいものである。



